



第110号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303  
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

## 新年度を迎えて

園長 館 谷 明 彦

国の障害者福祉計画では、施設入所者の地域生活への移行を図るものとし、入所施設においては、地域移行に向けた個別支援計画を策定し、地域移行のための事業を実施することとし、施設の居住機能の拡充強化をさらに促進するとされています。

現在、恵風会は生活介護事業所第一あすなろ・第二あすなろ、富山市婦中生活介護事業所つつじ、多機能型事業所このみ、障害者支援施設あざみ園、就労継続支援B型事業所どんぐり工房、グループホーム赤田ホーム、羽根の家、さらに相談支援事業所「あざみ」を開設しております。

あざみ園では、懸案の大規模改修を終えて、施設入所と生活介護の夜間と日中の支援に、メリハリを持たせて利用者の自立支援や地域移行に向けた基本的な生活習慣、健康で安全に暮らすための寄り添い支援を行っております。

地域移行のグループホーム赤田ホーム・羽根の家と就労継続支援B型事業所どんぐり工房では、働く喜びとゆとりのある生活空間を提供し、個々の適正やニーズに寄り添った福祉サービスの向上に向けて、職員が一丸となって取り組んでおります。

法律の改正は、福祉サービスや生活環境の見直しの必要性を示唆しております。

今後、進展します高齢化や個別的な支援が必要な利用者サイドに立ち、利用者が本当に求めている施設とはどの様な施設なのかを、自らが危機意識を持って対応しなければならぬと思っております。

今年度も各事業の内容を充実し、利用者の皆さんの夢と希望が実現できる年になるように、保護者の皆さん、職員の皆さんと一緒に考え改革してまいりますと考えております。

### 退職者あいさつ



支援員  
平野 栄 延

あざみ園に来て15年、つい先日のように感じられます。毎朝の元気一杯、笑顔のあいさつが聞けなくなると思うと少し寂しく感じます。長い間本当にありがとうごさいます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

### 離任者あいさつ



前園長  
平田 和 靖

このたび、社会福祉法人恵風会あざみ園の園長を退任することになりました。

平成24年4月に就任後、3年間という短い期間でしたが、保護者会の皆さんをはじめ職員、関係機関の皆様にご指導ご鞭撻を賜り、大過なく務めることが出来ました。本当に有難うございました。

福祉を取り巻く情勢が大きく変化する中で、新事業体系に移行したあざみ園が、障害者支援施設としてスタートし、さらに共同生活介護事業所「羽根の家」や就労継

続支援B型事業所「どんぐり工房」が3月に事業開始した時に私は就任いたしました。

経験も知識のない私でしたが、あざみ園で出会えた方々から人の優しさや強さ、可能性など多くのことを教えていただきました。

利用者の皆さん、保護者・職員の皆さん、お互いに感謝の気持ちを忘れずに個々の長所や短所を認め合って成長していくあざみ園でありますようにお祈りいたします。

(障害者支援施設あざみ園長↓  
富山市八尾スポーツアリーナ館長)



生活支援員  
中井 一 男

あざみ園での十三年間があつという間に過ぎ去りました。至らない私ではありましたが、利用者の皆さんの笑顔や保護者、職員の皆さんの助けもあり、無事に定年退職日を迎えることが出来ました。サラリーマン時代には出来なかつた貴重な体験の数々が今の私の財産です。長い間お世話になり本当にありがとうございました。

これからは、「明日来る」「中井さん帰るが」「中井さんこれからずつと休むが」などの呼びかけが聞けなくなると思うと寂しい気持ちになります。

四月からは赤田ホームの当直専任として勤めさせていただきます。調

理の方は羽根の家での多少の経験は有りますが、料理の種類を増やせるように頑張ります。

(障害者支援施設あざみ園↓  
赤田ホーム世話人)



生活支援員  
山本 奈 月

4月1日より富山市婦中生活介護事業所つじに異動になりました。あざみ園在職中は、利用者の方と共に楽しい時間を過ごさせていただきました。色々な所に外出に行ったり、宿泊旅行や日帰り旅行に行ったり、楽しい思い出がいっぱいです。短い間でしたが本当にありがとうございました。

(障害者支援施設あざみ園↓  
富山市婦中生活介護事業所)

### 新任者あいさつ



園長  
館谷 明 彦

私は、本年3月末をもって、37年間勤めました富山市役所を、定年退職いたしました。

最後の2年間は、山田総合行政センター所長として、勤務したことから、退職後も山田地域とつながりのある職場に勤務したいと、

再雇用を希望していただきましたところ、四月から、新たにあざみ園の園長として勤めさせていただきますことになりました。

前任の平田園長に恥じぬよう、誠心誠意で努めさせていただきますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。

あざみ園は障害者支援施設として、利用者の皆さんにより質の高いサービスを提供できるように、日々前進していかなければならないと思います。

私は、ゼロからのスタートになりますが、保護者会の皆さん、利用者の皆さん、そして職員の皆さんと日々素直な心で、お互いを認め合い、感謝の気持ちを持って笑顔で、共に協力しながら、あらたなあざみ園を築いてまいりたいと考えております。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

(山田総合行政センター所長↓  
障害者支援施設あざみ園長)



生活支援員  
若林 悦 子

この度富山市婦中生活介護事業所つじよりあざみ園へ異動になりました若林悦子です。

あざみ園では羽根の家の担当となりました。あすなろで十一年間事務補助として、富山市婦中生活

介護事業所で二年間生活支援員として勤務しました。生活支援員としてはまだまだ新米ですが、羽根の家の皆さんが安心して安全な快適な生活が送れるよう努力いたします。行き届かないところが多々あると思いますが、よろしくお願ひ致します。

(富山市婦中生活介護事業所)

障害者支援施設あざみ園

### 新規採用職員



看護師兼生活支援員

常本 数也

この度、今春から社会福祉法人恵風会に看護師兼生活支援員としてお世話になる事となりました。常本です。社会福祉法人恵風会にお世話になる前は、岐阜県の医療センターと石川県の特定精神科病院で看護師兼メディカルソーシャルワーカーとして、患者様の看護並びに社会福祉のサポートをさせて頂いておりました。専門分野は、精神科（心療内科）と整形外科です。

自己研鑽を行い、利用者様が快適で生きがいのある施設生活を営む事が出来るよう、全身全霊でお仕事をさせて頂きたいと深く考えております。まだまだ未熟者な私でありますが、何卒宜しくお願い申し上げます。



生活支援員

谷本 静香

4月からあざみ園の生活支援員として働かせていただくことになりました。谷本です。わからないことばかりですが、一日も早く皆様の力となるように精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



### カラオケ H27.3.5

歌が大好きな6名は、まねきねこ（八尾店）でカラオケを楽しんできました。

順番に好きな曲を入れ、歌ったり友だちの曲を聴いたり、おやつを食べたり飲んだりしながら、皆それぞれカラオケを楽しみました。

いつもの園でのカラオケとは雰囲気違って、緊張気味に歌う姿や酔いしれて歌う姿もみられました。

今度は新曲にチャレンジしましょうね！



### ゆとりの時間

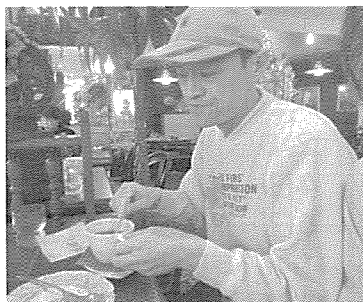
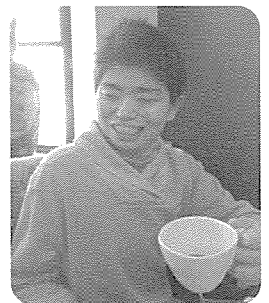
#### スイーツ

H27.3.10

ゆとりの時間でユース丸へスイーツを食べに行きました。

あいにくの雪でしたが、暖かい店内でそれぞれが好きな飲み物とオシャレで美味しいケーキを楽しみました。

最後は皆が笑顔で「美味しかった」「また来たい」と話していたので年もユース丸で素敵な時間を過ごしたいです。

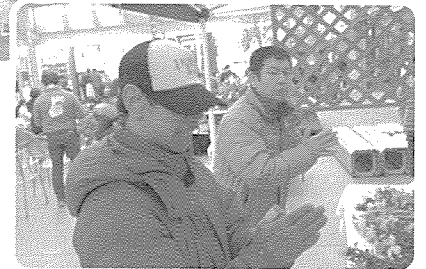


H27.3.11

# 東北エイド販売 ハーティ

3月11日に総曲輪グランドプラザにて東北支援イベント東北AIDが開催されました。雪のちらつく中多くの方がイベントに足を運んで下さいました。三陸産のめかぶを使用した「めかぶパン」を販売したところ、多くの方に手に取っていただきました。また、同行した利用者の方も一緒に黙とうを行い、震災について色々と考えて下さっている様子でした。

1月、2月に開催したハーティとやまでは多くの方に足を運んでいただきありがとうございました。たくさんの商品を手に取っていただき、利用者の皆さんも喜んでおられました。

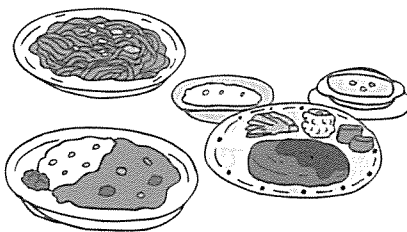


## 自治会だより

### 作業班 慰労会 H27.3

みんなの1年間の頑張りを  
労って作業班ごとに分かれて  
慰労会を行ないました!!

これでパワー全開! 来年も  
頑張れそうです☆



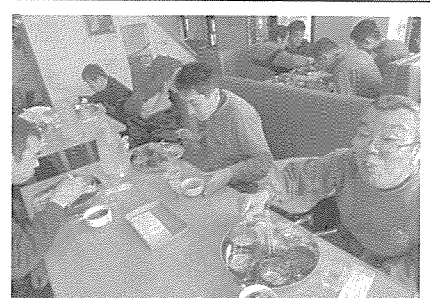
おしゃれにイタリアンな  
手工芸班♪♪



健康リハビリ班は、  
ハンバーグやフライ☆



天蚕班は、好きな定食を  
選んで食べよう!!



ウマ辛の本格カレーを食べたのは  
クラフト工芸班

## 行事のご案内

### 5 月のごかつの行事

- 6日...来園日
- 19日...ゆとりの時間 (いちご狩り)



### 6 月の行事

- 2, 3日...一泊旅行1班
- 4日...ゆとりの時間(ボウリング)
- 6日...来園日
- 14, 15日...羽根の家一泊旅行
- 23日...日帰り旅行2班

### 7 月の行事

- 2日...日帰り旅行3班
- 5日...来園日
- 7, 8日...健康診断
- 28日...ゆとりの時間 (海水浴)

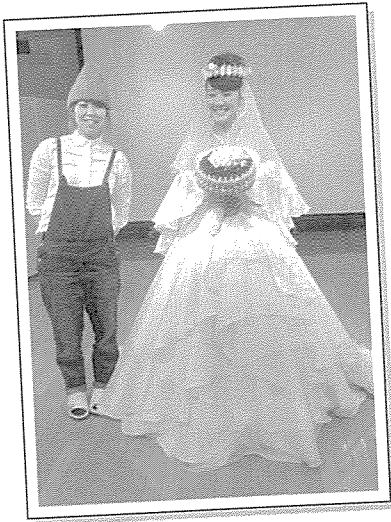


お知

らせ

5月29日 19時より 富山テレビ放送にて

# 「蚕の嫁入り」(仮)放送決定



あざみ園、がうん天蚕の会、富山デザイン・ビューティー専門学校共同で天蚕ウエディングドレスを制作しました。その様子を富山テレビが26年の春から密着取材を行っており、制作までの1年間の様子を含めたドキュメンタリー番組が放送されます。

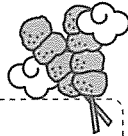
あざみ園での作業風景なども一部放送されると思いますので、そちらも合わせてお楽しみに！



## 「赤田ホーム」ニュース

### 赤田ホーム年度末会

平成26年度、3月最終土曜日、楽しみにしていた年度末会を「ダイニング串いち」にて行いました。1年色々ありましたが・・・お疲れ様そして来年度も頑張ろうということで乾杯しました。

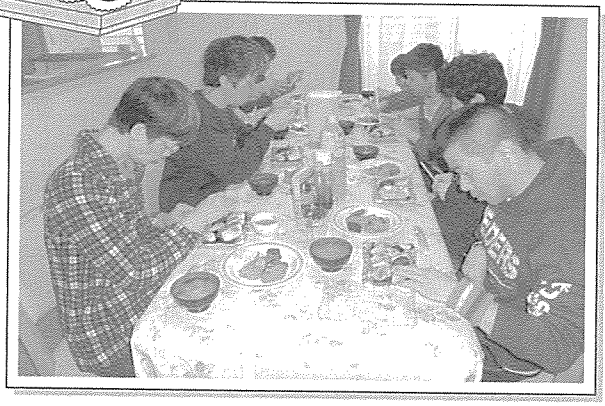
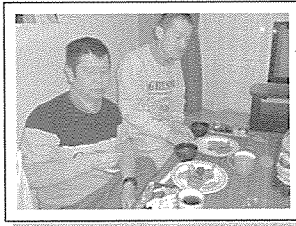
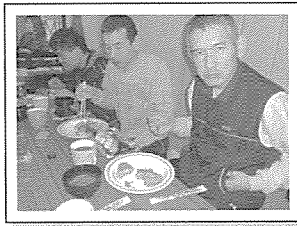
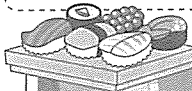


## 「羽根の家」ニュース

### 羽根の家年度末昼食会

今回はオードブルと寿司を購入し、味噌汁は作り皆さんでいただきました。

男性利用者がテーブルを運び入れ会場準備を、女性利用者は味噌汁の準備を行いました。テレビより北陸新幹線開業のニュースが流れると、「新幹線に乾杯」とジュースをおいしそうに飲む人や、寿司をほおぼり満足している人などそれぞれ楽しんでいました。



# 職員研修参加報告

平成26年度

社会福祉法人恵風会あざみ園

福祉講演会

主査 北滝めぐみ



「権利としての自己決定」

「権利擁護のさらなる推進と  
ぶれない価値の確立を目指す」

東洋大学社会福祉学科教授

高山直樹氏

あざみ園では法人として継続的に虐待防止研修を行っています。今年度は3月1日に富山県知的障害者福祉協会と共催で、福祉講演会を開催しました。

会場の八尾コミュニティセンターには、法人職員だけでなく、保護者や恵風会第三者委員の皆様、他の福祉施設関係者等多数の参加をいただきました。



## 講演要旨

利用者の権利を擁護し、よりよい生活を作ることが施設の役割である。「虐待をなくす」はマイナスをゼロに戻すだけでなく、利用者の生活は何も豊かにならない。本当は誰よりも近くにいて、その人を理解し守るべき立場の人から行われるのが虐待の深刻さである。身体的な傷は癒えても心の傷は治らない。「障がいのあるひとを人間としてみてきたか」、「はつきりした目的や意識もなく漫然と支援することの恐ろしさ」、「傍観は

虐待」、をキーワードに、人権とは何か、福祉はどうあるべきかという熱い講義が続いた。プログラムに当てはめる福祉ではなく、個人、チーム、組織としてグレーゾーンに気付く、そこからどういう支援を考えていくかが重要である。意思表明がうまくできない人であっても、支援者がとことん寄り添うことで、その人が望む暮らしを作り上げることは可能である。「困難事例」は職員の言葉で、本当は「混乱事例」となっていることが多い。役割分担をもう一度見直し、ネットワークを作り直して、最初から混乱を整理していく作業が必要である。

## 質疑応答

①CHで生活する利用者が明け方に無断外出する。心配で探すが、権利擁護の観点から彼にどのように対応していけばよいのか？

職員は全員NOと思っているでしょう？（YESの人はいないと思います）。無断外出（不適応）は彼の意思決定であり、自己表現。「問題行為だからやめさせよう」ではその人は逃げていく。なぜそうするのか、彼の苦悩の部分に寄り添っていくことが重要。会議のベクトルは、「NOだから改善」ではなく、「彼はどのような生活をしてどのような苦悩があるのか」に想いを

を合わせ、生活史を紐解き、第三者のスーパーバイザーを入れながら客観的に考えていくべき。彼はなぜ無断外出したのかをぎちぎちに考えてほしい。



②集団生活の中で利用者のニーズが相反する場合がある。どのように折り合いをつければよいのか？

誰かが我慢しなくて良い環境を作るのが福祉の仕事。そこにいてもらう「折り合う」ではなく、新しいものを創る「織り合う」ことを追求するべき。個人レベル、チームレベル、制度レベルで考えて行き、枠組みを外していく。「どういう環境ならうまくいく？」を考えていくことが必要。

③勤務する事業所以外の保護者や職員から個人的に辛さを打ち明けられることがある。どのようにフオロしたらよいのか？

傾聴が一番。ちゃんと話を聞いてくれる人に出会おうと安心して過ごせる。そこから専門家や支援チームに関係性をつないでいくといい。

# 保護者会コーナー

## 社会の恩師の恩に感謝 帰省中の息子の行動

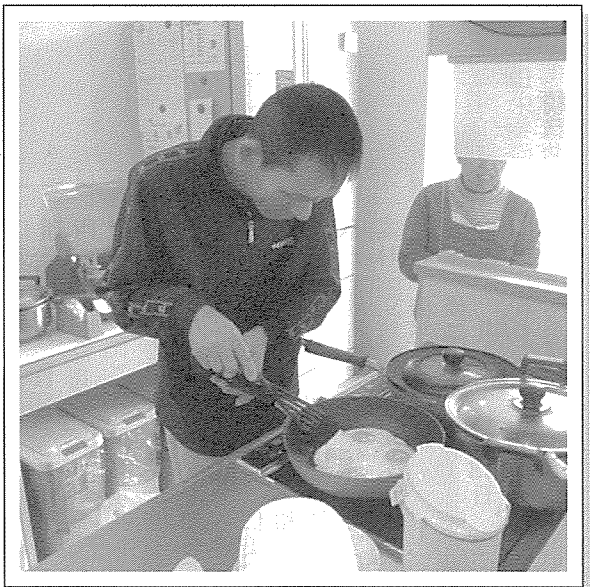
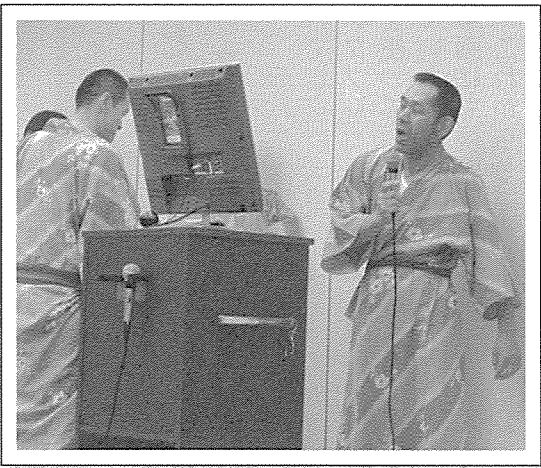
あざみ園保護者 堀井ユリ子

ケアホーム羽根の家に入所  
頂いて早三年の歳月が流れま  
した。お陰様で元気で毎月来  
園日前夕日に帰省をします。  
福祉センター前にてバスに  
乗り、富山駅北前で頂いた小  
遣い千円で缶コーヒーを飲ん  
で休憩、ライトレールに乗り  
家に着くのが十時半頃暫くし  
て近くの8番ラーメンで昼食  
を取り、会計は自分で払いた  
い様です。千円で払いますと、  
財布が小銭で膨らんできます。  
午後には、部屋の片付け、  
重い物等々運んだりして手伝  
つてくれます。当日はゆっく  
り休みます。翌日はテレビ朝  
ドラ六日間の視聴に注目。午  
後には天候が良ければ富山駅  
前の方に自転車で散策。コー  
ヒー店に入って休憩し、また  
千円で払い財布を小銭でもり

りにして約束の時間を守つ  
て帰ります。

さて、それから小銭開きが  
始まり数えて区分をして、そ  
れでも銭湯に行く代金四百二  
十円と、当日バスに乗る前の  
コーヒー代とを財布に入れ、  
跡は知りませんで満足の様です。

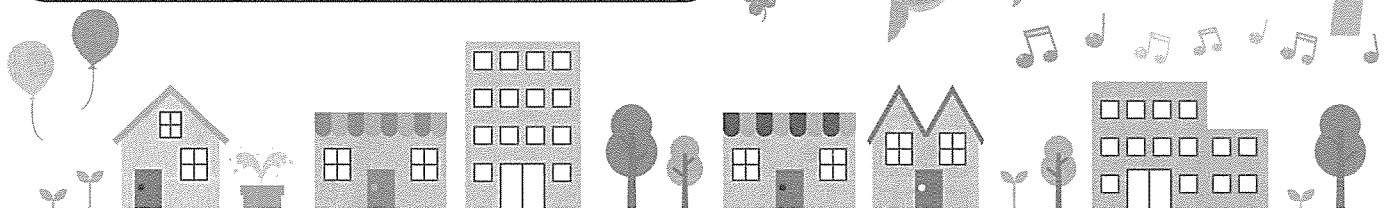
この様にして、帰園日の朝  
になりますと、そわそわとし  
てあざみ園入所以来一度も嫌  
な素振りをした事はありません。  
親としてこの上ない喜び感謝  
一杯です。



## コ★ラ★ム

念願の北陸新幹線がついに開  
業した。  
マスコミも後押しをして当日  
は大変な熱狂で一日中テレビで  
放映されていた。  
近所の新幹線の走る場所で見  
る事ができるかと思ひ、その場  
所を通るたびに上を見上げるが  
未だに一度も見ることができない。  
好調なスタートを切った新幹  
線。どうか一過性で終わる事  
のないよう願うものだ。

S・K



# 職員のお Buzz



## 私の好きなこと

荒屋 文博 支援員編

私の好きな事は沢山ありますが、中でも絵を描くことが好きで、時間を見つけてはイラストや人物画・風景画を描いて楽しんでいきます。小さい頃から漫画やアニメが好きで、大学時代に見た『秒速5センチメートル』という背景画が綺麗なアニメに衝撃を受けて、こんな絵を自分も描いてみたい!と思いい、継続的に描くようになっていきました。デッサン等を習ったこともなく、正直上手くはありませんし、思ったように描けず悔しい思いをする事も良くあります。しかし、思いを形にできた時には何物にも代えられない達成感を得るこ



今回は館谷園長編です。お楽しみに!!

## 善意の心

ありがとうございます

平成27年2月〜平成27年4月(敬称略)

- あざみ園保護者会
- あざみ園後援会

## あざみ園へ来園された皆さん

平成27年2月〜平成27年4月(敬称略)

### 【来園者】

- ・社会福祉法人恵風会 理事長 野尻 昭一
- ・社会福祉法人恵風会 理事 村上 伸治
- ・富山市議会議員 浅名長在 工門
- ・富山福祉短期大学 教授 石動 瑞代
- ・法政大学校友会副会長 松井 幹夫
- ・ワークサポートあゆみ施設長代理 羽田 哲郎

### 【転任あいさつ】

- ・山田郵便局長 葛原 誠
- ・富山市立山田小学校 教頭 稲田 真人
- ・富山市立山田小学校 教諭 牧田 真隆
- ・富山市立山田中学校 主任 善光 幸代
- ・富山市立山田中学校 教頭 竹内 裕和
- ・富山市立山田中学校 教諭 山元 泰正
- ・富山市立山田中学校 教諭 西野麻利江
- ・富山市立山田中学校 教諭 西村 千里
- ・富山市立山田中学校 校務助手 道願真由美

### 【着任あいさつ】

- ・富山市山田総合行政センター所長 坂井 栄一
- ・富山市立山田小学校 教頭 穴田 涼子
- ・富山市立山田小学校 教諭 庄田 勝紀
- ・富山市立山田小学校 主任 佐藤 尚子
- ・富山市立山田小学校 主任 金子 雅行
- ・富山市立山田中学校 教頭 高林 正行
- ・富山市立山田中学校 教諭 浅野 浩平
- ・富山市立山田中学校 教諭 松永 優二
- ・富山市立山田中学校 主任 古山 泉
- ・富山市立山田中学校 主任 明嵐さおり
- ・富山市立山田中学校 校務助手 土田 明美
- ・富山市立山田中学校 校務助手 土田 明美

## 職員の異動

【退職】平成27年3月31日付

平野 栄延(あざみ園支援課生活支援員)

【人事異動】平成27年4月1日付

藤田 稔二(支援課主査→支援課地域支援係長)

若林 悦子(富山市婦中生活介護事業所生活支援員→支援課生活支援員)

【転任者】平成27年4月1日付

平田 和靖(あざみ園長→八尾スノーアリーナ館長)

山本 奈月(育児休業期間休業→富山市婦中生活介護事業所生活支援員に復帰)

【新規採用】平成27年2月1日付

常本 数也(支援課看護師兼生活支援員)

平成27年4月1日付

荒屋 文博(支援課生活支援員)

谷本 静香(支援課生活支援員)

水村 紫穂(富山市生活介護事業所第1あすなろ生活支援員)

岡本 沙里(多機能型事業所のみ生活支援員)

## 実習生

平成27年2月16日(月)〜2月28日(金)

富山短期大学 3名

平成27年3月2日(月)〜3月13日(金)

富山大学 4名

## ボランティアありがとうございます

(平成27年2月〜平成27年4月(敬称略))

- ・関 由美子(食品加工)・大瀬 春江(手工芸クラフト)
- ・澤村ひろみ(食品加工)・石田すみ子(手工芸クラフト)
- ・杉江まさみ(食品加工)・谷井美智子(手工芸クラフト)
- ・葛原 仁美(食品加工) 食品加工)
- ・道下 和美(音楽療法)・日赤奉仕団(シーツ交換)
- ・中野 裕子(音楽療法)・清水 純子(どくろ工房)
- ・山本 明美(テクニク)・大谷矢辰則(笑いヨガ)

## 結婚

11月23日 松本支援員がご結婚されました。

編集 春の訪れと共に心機一転頑張りますよー!  
後記 みなさん今年は何にチャレンジしますか?